

漫画文化による地方都市の地域振興方策に関する研究
～横手市増田まんが美術館を例に～

秋 田 大 学 学 生 会 員 ○吹谷 太郎
秋田大学大学院 正 会 員 日野 智

1. はじめに

近年、漫画は日本を代表する文化の一つとして認められ、漫画作品を活用したまちおこしの事例も増えている。秋田県には漫画原画をテーマとした美術館である「横手市増田まんが美術館」があり、横手市の観光拠点としての役割も期待されている。

本研究では、漫画を活用したまちおこしの方向性について検討するために、人々の趣味趣向や観光の傾向、「まんが美術館」についての意識等を調査した。調査は秋田市を中心とした横手市以外の地域から 93 票、横手市から 70 票回収した。そして、「まんが美術館」を例として、漫画文化による地域振興の可能性や効果について考究したものである。

2. 漫画や観光への関心の把握

調査では漫画や観光への関心や、観光の好みなどを質問している。図-1 に観光の目的として興味があるものを、表-1 に漫画および観光が好きかを 5 段階で聞いた結果を示す。

この結果から、漫画も観光も多くの人が「好き・やや好き」と答えているが、漫画やアニメに関連したものを、主な観光の目的とする人は少ないことがわかる。以上より、漫画自体は多くの人から親しまれているが、ただ漫画を利用しただけでは、観光資源として十分ではないことが推測される。

表-1 漫画および観光が好きか

	漫画(人)	観光(人)
好き	58	99
やや好き	33	44
どちらともいえない	54	18
やや嫌い	8	2
嫌い	7	0

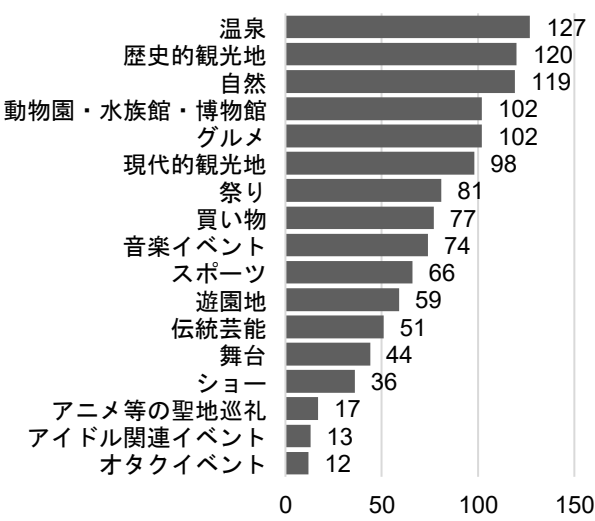


図-1 観光の目的として興味があるもの(n=163)

3. 観光資源としての「まんが美術館」

「まんが美術館」への来館経験の有無と漫画や観光への関心との関係を見る。漫画への関心との関係を示したものを図-2、観光への関心との関係を示したものを図-3 に示す。なお、観光としての「まんが美術館」への来館を分析するため、横手市民の票は除いている。

図-2 より、漫画が好きの人が「まんが美術館」に多く来館していることがわかる。一方、漫画が好きでも来館したことがない人や、漫画にあまり関心がなくても来館したことがある人が一定数いることも明らかとなった。

また、今後「まんが美術館」に行きたいと思うかを質問した結果、「積極的に思う」が 15 票、「近くに寄ったら行く」が 34 票、「誰かに誘われたら行く」が 33 票、「思わない」が 9 票であった。

この質問でも、漫画を好きな人ほど「まんが美術館」に好意的な回答をしていたが、漫画に関心が薄い人でも「近くに寄ったら行く」や「誰かに誘われたら行く」と回答した人が少なくなかった。

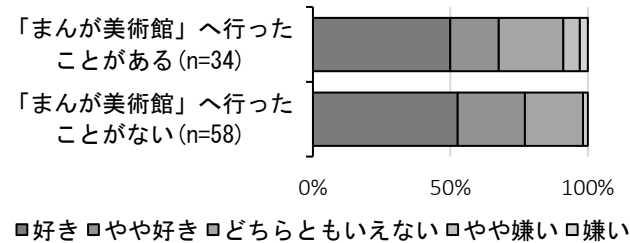


図-2 漫画への関心と「まんが美術館」への来館経験の関係

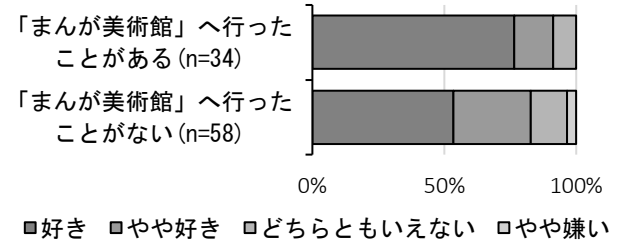


図-3 観光への関心と「まんが美術館」への来館経験の関係

来館経験と観光への関心の関係をみると、漫画が好きな人だけでなく、観光が好きな人も多く来館していることがわかる。

以上より、「まんが美術館」は漫画への関心に関わらず、広い層からも支持されており、地域の観光資源として有効に機能しているものと考えられる。

4. 「まんが美術館」の観光拠点としての役割

「まんが美術館」が横手市の観光産業に与えている影響を把握するために、市内の18の観光施設・イベントへ行った経験の有無を質問している。「まんが美術館」への来館経験の有無で、結果に大きな違いが見られたもののうち、上位5つを抜粋したものを図-4、図-5に示す。なお、今回も横手市民の票は除いている。

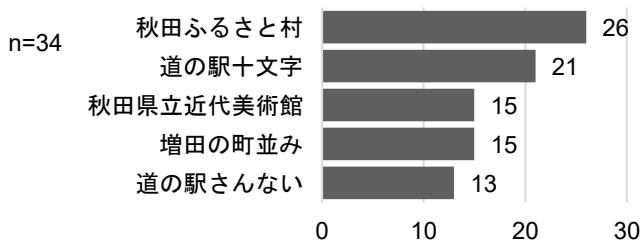


図-4 「まんが美術館」に行ったことのある人が2回以上行ったことのある観光施設

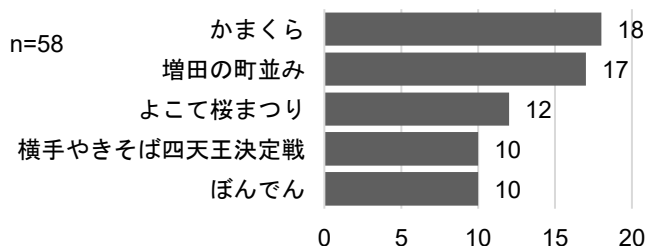


図-5 「まんが美術館」に行ったことのない人が関心はあるが行ったことのない観光施設

この結果から、「まんが美術館」に行ったことがある人は増田の町並みにも行ったことがあること、「まんが美術館」に行ったことがない人は増田の町並みに関心があることがわかる。よって、「まんが美術館」に来館した人の多くが増田の町並みにも訪問しており、これから来館する人も増田の町並みにも訪問する可能性が高いと推測できる。

増田の町並みは重要伝統的建造物群保存地区にも指定されており、観光資源としての価値が高い。したがって、「まんが美術館」は増田の町並みとの連携を深め、横手市の主要な観光拠点としての役割を果たすことが期待される。

5. 公共施設としての「まんが美術館」

横手市民の「まんが美術館」に対する認識を把握するため、「まんが美術館」への来館回数と「まんが美術館」を通じて湧いた地域愛着との関係を見る。その結果を図-6に示す。

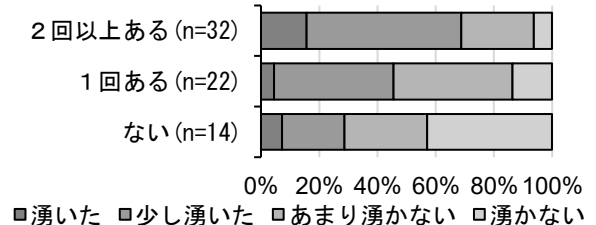


図-6 「まんが美術館」への来館回数と「まんが美術館」を通じて湧いた地域愛着の関係

多くの横手市民が1度以上「まんが美術館」に来館しており、その回数が多いほど「地域への愛着が湧いた・少し湧いた」と回答する割合が高い。

これらの結果から、「まんが美術館」が観光施設としてだけでなく、地域の公共施設としても有効に機能していることが推測される。

6. おわりに

本研究から、漫画文化を活用した地域振興は特定の作品のファンからだけでなく、広い層から支持される方策を練るべきだと示された。周辺の観光施設との連携を深め、相乗的に観光客を増やすこと、地域に根差し、地元の人から親しまれる観光資源にすることが、漫画文化を活用したまちおこしを有効に実施する上で重要であることが明らかとなった。「まんが美術館」は、増田の町並みと合わせてPRしていくことが効果的と考えられる。